

平成29年度事業計画

1. 法人全体の事業計画

平成29年度は、社会福祉法人制度改革の実質的な1年目となります。理事会、評議員会のあり方が変わり、6月を予定しております定時評議員会において、ようやく新体制が確定する予定です。

また、事業所開設20周年の節目となる年でもあります。今後の法人運営を確かなものとするために、改善、改革に取り組んで参ります。

(1) キャリアパスを取り入れた、人材育成と職員処遇との一体的な改革に取り組めます。

昨年の熊本地震以来、人材確保の難しさは一気に募っています。そしてこれは一過性のものではなく、今後の趨勢として捉えるべきものであると考えています。

良い人材を確保するために、職員の処遇改善とともに、この職場で働くことで、自分が将来どのような技能を身につけ、どのような職に就くことができるのかという道筋を見通すことができるキャリアパスの考え方を取り入れた人事考課制度、教育研修制度を整備する必要があります。

今年度1年間をかけて、給与制度、考課制度、研修制度を整備して参ります。

※キャリアパス (Career path、直訳すると「キャリアを積む道」を意味する)

とは、企業の人材育成制度の中でどのような職務にどのような立場で就くか、またそこに到達するためにどのような経験を積みどのようなスキルを身につけるか、といった道筋のことをいいます。

(2) 基本財産強化のために土地を取得します。

事業所開設以来2号館と3号館にまたがる土地は借地となっております。また、泉ヶ丘ホームにつきましても、賃借のまま運営をしております。

この2件の土地、建物につきまして、今年度早期に取得し基本財産に組み入りたいと考えております。

2. 事業別計画

(1) 就労移行支援「サンライズ」(定員10名 平成29年度5名より開始)

1. 事業方針(平成29年度の主要な取り組み)

本年度は、定員数を13名から10名へと変更いたしました。これは、昨年度就労などの終了が14名と多かったことに加え、雇用情勢の向上などから例年に比べ利用者(アセスメント利用を除く)が減少することを考慮しての措置です。より多くの方に利用いただける魅力的な事業所づくりを、重要課題として取り組みます。

就労先の開拓として、職種を多様化していくことも方針のひとつと致します。それに伴い、訓練科目の充実と実習体験の増加に努め、個別支援に重点を置き就労率の向上もめざします。

2. 支援内容充実のための取り組み

- ① 本人家族の要望をふまえ、適性を見極めるための個別支援を行う。
(個別支援計画書を3ヶ月毎に作成)
- ② ハローワークやその他の支援機関と連携を持ち、障がい者雇用に理解ある企業を確保、開拓して就労につなげる。
- ③ 支援学校生やサンライズの利用を希望される方たちの利用前実習を受け入れ、就労移行支援事業の周知に努め、新規利用につなげる。(実習の受け入れ、スマートライワーク、実習中の家族見学、アセスメントのための利用者など)
- ④ 一般企業の中で仕事の体験を実際に行う施設外訓練を通して、就労に必要な習慣、コミュニケーション能力を身につける。
- ⑤ 就労先を多様化していくため、企業見学を積極的に行い、見聞を広め、支援内容の向上に生かしていく。
- ⑥ 様々な企業から発注をいただいた軽作業を通して、コツコツと作業に取り組み、基礎体力・集中力・持続力を身につける。
- ⑦ 座学(社会生活上の技能、マナー、パソコン、創作活動、道具を扱う作業、漢字の書き取り、計算など)や読書(図書館の利用)の充実を

図る。利用者を班分けし、パソコン、A型の手伝い、B型の手伝いなど、少人数で取り組み、理解力の向上を図る。

- ⑦ 施設外活動（公共施設の利用・見学、調理実習、買い物実習、自力での通所など）を通して、社会性を養う。
- ⑧ スマイル劇団への参加などから、発表の機会を持ち表現力を養い、利用者同士の交流を深める
- ⑨ 進路が決定した利用終了後も、現状の確認を行い、本人はもちろん家族とも連携をとり続ける。（同窓会を行う。）
- ⑩ 企業や移行先と連携を取り、職場定着のための支援を行う。
- ⑪ 他の施設との合同活動を行い、支援内容や活動内容を学びあう。
- ⑫ 様々な研修や勉強会に積極的に参加し、支援力の向上に努める。

3. その他特記事項

終了者数目標 5名

(2) 就労継続支援A型「サンシャインワークス」(定員30名 平成29年度30名より開始)

1. 事業方針（平成29年度の主要な取り組み）

作業においては、昨年度に引き続き、関係機関との密な連携、機械等の環境整備、作業中の「ムダ・ムリ・ムラ」の排除など効率化に努めていきます。合わせて従業員主体の取り組みとして、担当作業の振り分け、主要人物の時間延長など役割意識を高めるような支援体制を整えていきます。

2. 生産事業

売上目標 72,300千円（前期予算比 111.9%、前年度予算額 64,600千円）

（単位：千円）

主な作業	平成29年度目標	平成28年度見込	前年比
G C様関係	62,000	61,000	102%
施設外就労	1,800	367	490%
珈琲事業	6,500	6,500	
その他	2,000	1,900	105%
合計	72,300	69,767	104%

○重点的な取り組み

主たるG C様作業を維持したうえで、施設外就労と珈琲事業の発展に重点をおいて取り組みたいと考えます。具体的に、施設外就労では木之内農園様と連携を図りながら、新たな取引先となる恵楓園様のゴミ収集作業をまずは軌道に乗せ、その後単発的な作業または管理などのご提案ができればと考えています。

珈琲事業はA型単体で「武蔵焙煎工房」として事業を行ってきましたが、コーヒーに限らず共生福祉会の製品を統一ブランドとして売り込んでいきたいと構想しており、事業所横断的な展開を目指して取り組んでいきます。

3. 賃金

○目標賃金（年間・平均）

	平成29年度目標	平成28年度（予測）
一人当たりの賃金月額※1	104,800	102,300
全体の総支給額	37,700,000	35,600,000

※1 一人あたりの賃金月額には賞与分も含まれております。

4. 支援内容充実のための取り組み

①余暇活動

障がい者スポーツ大会、サンシャインフェスタ、忘年会、社員旅行などの行事を通して、自分たちから参加していきたいと思うような企画立案をできるよう支援していきます。

②一般就労

年間2名を目標とします。希望者の意向に寄り添いながら企業の担当者様や関係機関との連携を図っていきます。移行型との連携強化も図っていきます。

③勉強会

消費者トラブルや対人問題など、必要に応じて個別、小グループから全員を対象に開催していきます。

④家族懇親会

年に1回懇親会というかたちで、交流の機会を設けていきます。

5. その他特記事項

- ①安全衛生委員会（産業医面談、臨床心理士面談、ストレスチェック等）
- ②支援計画書作成（毎月数名）

(3) 就労継続支援B型「すてっぷはうす」(定員20名 平成29年度25名より開始)

1. 事業方針（平成29年度の主要な取り組み）

A型や一般就労を希望される方へ、色々な不安を取り除き、なるべくスムーズに移行できるようなサービスの提供を行います。新規事業として施設内清掃を計画的に取り組むことで、活動の班分けを行い、利用者間の環境整備を行います。これにより安定した収入の増加につなげます。

今後も利用者増が見込めるようであれば、B型の定員数の変更も取り組みの一つとして浮上することも予想されます。

2. 生産事業

○売上目標

6,000,000円 ※H29年度予想工賃総額 約5,200,000～5,500,000円

○重点的な取り組み

既存の得意先からの役務拡大。

利用者個々のスキルアップを図り、作業量の増加に取り組む。

午後の作業にて、施設内美化の時間を定期的に入れる（新規事業）。

3. 工賃

○目標工賃

時給200円

※人数の増加に伴い工賃支払総額も増えていくため、まずは現状維持に努めます。一方で、短時間利用者の時間を延ばし、個々の利用日数が伸びるような支援を行うことで、利用者の収入が増える働きを行います。

4. 支援内容充実のための取り組み

利用者の個性が多様化しているため、既存の役務に加え施設内美化作業などを活用し、活動のグループ分けを行います。このことにより、利用者間の精神的安定を図ります。また、支援員個々のスキルアップ（作業の段取り、作業工程の把握、利用者個々の個性の把握、資格取得など）にも努め、色々な場面にスムーズに対応できるよう取り組みます。

5. その他特記事項

年2回の特別工賃の算定方法を、従来の実利用日数によるものではなく、作業面での貢献度に応じたものにできないか、検討していきます。

(4) 自立訓練（生活訓練）「風見鶏」（定員6名 平成29年度5名より開始）

1. 事業方針（平成29年度の主要な取り組み）

・多様な障がいに対する支援の専門性を高める。

多様な障がいの方が利用されるという事業所の特性上、より支援の専門性高め、様々な方のニーズに対応できる支援を行うことが必要となります。支援員は資質向上に努め、日常生活や社会生活の能力向上を目的とした的確なプログラムを提供します。個々の障がいに対してしっかりと一人ひとり

に寄り添った支援を行っていきます。効果的な支援などは他事業所へのフィードバックも行ってきたと考えてます。

・活動内容を充実し、アピールすることで利用者増への働きかけを行う。

定期的に支援学校・相談支援事業所等を訪問することで関係機関との連携を強め、学校や地域、病院、在宅の方、など様々な方が利用できる事業所を目指します。活動内容の充実を図り、活動報告等の資料を充実させ、事業所の案内に活用します。

2. 支援内容充実のための取り組み

- ・ 様々な利用者の方が安心して活動できるような幅広い活動・訓練メニューを提供し、魅力のある事業所を目指す。具体的には、生活体験的な活動（掃除、洗濯、買物など）を増やすことで日常生活力向上を目指し、体を動かす活動（運動や園芸、動物との関わりなど）を取り入れることで豊かで楽しい活動を行っていく。
- ・ 一人ひとりにしっかりと向き合い、一人ひとりに寄り添った支援を行う。日々の活動を通して、生きがい・やりがい・自信を持って活動や行動ができるような支援を行う。
- ・ 支援員は様々な障がいの方にしっかりとした支援が行えるよう、研修等を通して自己研鑽に励み、資質向上に努める。

3. その他特記事項

- ・ 2年間の訓練の中で、一人ひとりに合ったその後の就労の形（A型・B型・移行型）を十分に検討し、先々を見据えた将来に繋がる支援をする。
- ・ 3か月毎に個別支援計画を作成し、本人・ご家族との面談を通してより良い支援を行う。
- ・ 地域との関わりを深める活動（ボランティア活動、イベント参加）を積極的に行うことで社会性を養いつつ、地域との連携を強化する。

【活動予定表】

月	火	水	木	金
	1 心を豊かにする活動 好きな言葉を習字で書いてみよう！ 目的：集中力の向上	2 公共施設利用 買物訓練 図書館を利用しよう！ 食材を購入しよう！ 目的：公共マナーの習得	3 調理訓練 創作活動 おにぎり、だご汁をつくろう！ 目的：生活力の向上 手工芸を楽しむ	4 創作活動 手工芸作品をつくってみよう！ 目的：集中力の向上 創作力の向上
7 マナー訓練 SST、座学 就労について考えてみよう！ 目的：就労意欲の向上	8 心を豊かにする活動 自分の好きな絵を描こう！ 目的：集中力の向上 創作力の向上	9 運動 買物訓練 ストレッチ・柔軟体操 食材を購入しよう！ 目的：運動機能の向上 生活力の向上	10 調理訓練 創作活動 ハンバーグ・トナリガをつくろう！ 目的：生活力の向上 手工芸を楽しむ	11 外出訓練 オレンジカフェに行ってみよう！ 目的：社会性・自立性・ 集団行動力を養
14 マナー訓練 SST、座学 コミュニケーション力を習得しよう！ 目的：コミュニケーション力の向上	15 心を豊かにする活動 マージャンで脳と指先のトレーニング 目的：思考力の向上 巧緻性の向上	16 公共施設利用 買物訓練 図書館を利用しよう！ 食材を購入しよう！ 目的：公共マナーの習得	17 調理訓練 創作活動 サンドウィッチをつくろう！ 目的：生活力の向上 手工芸を楽しむ	18 買物訓練 100円ショップでお買物♪ 目的：生活力の向上
21 マナー訓練 SST、座学 みんなで話し合いSSTに挑戦！ 目的：コミュニケーション力の向上	22 心を豊かにする活動 陶芸で作品をつくってみよう！ 目的：集中力の向上 創作力の向上	23 公共施設利用 買物訓練 移動訓練に挑戦しよう！ 目的：公共マナーの習得	24 調理訓練 創作活動 いわしの煮付けをつくろう！ 目的：生活力の向上 手工芸を楽しむ	25 外出訓練 監物台樹木園に行ってみよう！ 目的：社会性・自立性・ 集団行動力を養
28 マナー訓練 SST、座学 一般常識って？一緒に勉強しよう！ 目的：社会性の向上	29 心を豊かにする活動 手工芸作品をつくってみよう！ 目的：中力の向上 創作力の向上	30 公共施設利用 買物訓練 図書館を利用しよう！ 食材を購入しよう！ 目的：公共マナーの習得	31 調理訓練 創作活動 冷凍食品で弁当をつくろう！ 目的：生活力の向上 手工芸を楽しむ	

(5) 共同生活援助（グループホーム）（定員20名）

1. 事業方針（平成29年度の主要な取り組み）

(1) 入居者の生活の安定

- ・ 入居者自身が安心して、落ち着いた生活を送れる様に、相談事業所やご家族、病院、日中活動の事業所等と連携し、情報交換を行っていく。
- ・ 入居者の方がホームの生活の中でストレスを溜め込まない様に、物理的配慮や人的配慮の面からも考えていく。
- ・ 入居者の方が、安心して日中活動へ参加できる様に配慮を行う。
- ・ 成年後見制度等の促し、親なき後など、入居者自身の抱えている課題の整理、対応策を考える。
- ・ 入居者の高齢化対策など今後について課題の整理、対応策を考える。

(2) 自立に向けた援助。

- ・ サービス等利用計画書に応じた、個別支援計画書を作成し、本人の意向に添い、部屋の片付けや調理の手伝い、余暇時間の過ごし方など、声掛けを行いながら進めていく。
- ・ 金銭管理が苦手な入居者の方に、お金の使い方や、通帳の使用の仕方、貯蓄の心構えなど伝えていき、金銭意識を高めていく。
- ・ 交通機関や公共施設などの資源の情報や、資格、免許の情報を伝えていく。
- ・ 一人暮らしの意向があらわれる入居者の方に一人暮らしの情報や、アパート式グループホームなど情報を伝えていく。

2. 支援内容充実のための取り組み

- ・ 外出活動を取り入れる。(年2回ほど)
- ・ 緊急時の体制を整える。(グループホーム巡回の職員を絞り、体制強化に努める。)
- ・ 定期的な巡回により、サービス管理責任者と入居者との会う機会を増やし、世話人の孤立を防止する。
- ・ 世話人同士の協力体制の強化。
- ・ 世話人ミーティングの内容の充実。
- ・ 色々な経験をできる様な機会を増やしていく。

(6) 地域の縁がわ事業

1. 平成29年度の地域の学習教室について

平成29年度の取り組みは以下の通りです。

- ①日 時：毎週土曜 午後2時から3時
- ②場所：多目的室
- ③指導者：退職された先生等8名。法人職員3名(全員ボランティア)。
- ④登録児童生徒：6名(小学生5名、中学生1名)数名の増加には対応可能です。

- ⑤運営費：県よりの運営費の助成は約10万円です。この助成は使用が限定されています（教材費、支援者交通費、会場費 等）ので、法人の予算として10万円計上します。
- ⑥その他：平成28年度は月 1 回食事会を開いてきましたが、平成29年度はこれを見直します。体験学習として、調理実習を予定しています（年 3 回位）。

2. ひまわりプロジェクトへの参加について

平成29年度も、福島支援のひまわりプロジェクトに参加します。

畑には主にイモ類、葉物類を植え付けする予定ですので、ひまわりは昨年、一昨年より大幅に減らします。（H28年100坪⇒H29年30坪）